

令和5年度 年間学習指導計画

岩手県立金ヶ崎高等学校

教科	英語	科目	論理・表現 I	担当	
履修学年	1年	単位数	3	履修区分	普通科
教科書	BIG DIPPER English Logic and Expression I (数研出版)				
副教材等	英単語ターゲット1200 (旺文社) 総合英語be (いっずな書店) BIG DIPPERワークブック (数研出版)				

1 学習目標

言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を身につける

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている
b 思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている
c 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
前 期	4	日本語で省略される主語 伝えたい内容を表す動詞 数えられる・数えられない名詞	Lesson1	「誰が」「～する」	○	○	○	a 日常的に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような表現(動詞)を用いるのかを理解している b 英語における数の概念を身につけ、単数形・複数形、定冠詞・不定冠詞といった点を考慮し、正しく表現する c 日本語と英語の基本的な語順の違い、主語の置きかたの違いなどについて正しく理解しようとしている	やりとり	
			Lesson2	動詞をうまく使う	○	○	○			
			Lesson3	名詞の区別	○	○	○			
	5	肯定文・否定文 疑問文 現在形・過去形 現在/過去進行形 未来を表すwill be going to	Lesson4	My Friends	○	○	○	a 自分や話し相手の日常の行動、好きな科目や人物、予定についてコミュニケーションを図る技能を身に付けている b 現在や過去の状態や習慣、現在進行中の動作、過去に進行中であった動作を表す表現を理解、適切に表現する c 日常の行動を述べる表現や、予定・計画される行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている	やりとり	
			Lesson5	My Family	○	○	○			
			Lesson6	Pastime	○	○	○			
	前期中間考査									
	5	6	現在完了形 過去完了形	Lesson7	My Town	○	○	○	a 自分や話し相手の経験などについて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている b [完了/結果][経験][状態の継続][動作の継続]を表す表現を理解し、自分の町や身の回りの状況について適切に伝える c ある時点までの経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている	やりとり
				Lesson8	Our Teachers	○	○	○		
		9	can, may must, can't  should, must 助動詞+have+過分	Lesson9	Visiting a Museum	○	○	○	a 提案や依頼、許可を求めたり身近な人の行動・状況などを推測してコミュニケーションを図る技能を身に付けている b [可能][許可][推量][助言・義務][必要・不必要][禁止][過去の推量・後悔]に注意し、適切に表現する c 助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている	発表
				Lesson10	Famous People	○	○	○		
9	S+V+C, S+V+O S+V+O+C, S+V+O+O  受け身 by以外の受け身	Lesson11	Reading	○	○	○	a 建物などの説明や読書、感情に関連する事柄などについて表現してコミュニケーションを図る技能を身に付けている b 「受け身」の意味に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する c 「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている	やりとり		
		前期末考査								

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
後 期	9	to不定詞 疑問詞to不定詞	Lesson12	Studying Abroad	○	○	○	a 希望や目標、物事を行う方法、助言や頼み事などについて表現してコミュニケーションを図る技能を身につけている b to不定詞の名詞的用法や形容詞的用法、副詞的用法、原形不定詞の用法に注意し、適切に表現する c 不定詞を用いて行動の内容を述べる表現を習得しようとしている	やりとり	
		SVO+to不定詞/原形不定詞	Lesson13	Advice	○	○	○			
	5	動名詞 to不定詞と動名詞	Lesson14	Hobbies	○	○	○	a 幼いころの思い出や、休暇の出来事などについて、分詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている b 適切な場面において、現在分詞、過去分詞を用いて「～している…」 「～された…」と名詞を説明する c 趣味やその他の日常の活動について動名詞を用いて表現し、動名詞やto不定詞を続ける動詞を理解しようとしている	発表	
		分詞(名詞を修飾) SV+分詞/SVO+分詞	Lesson15	My Vacation	○	○	○			
	11	原級を使った比較 比較級	Lesson16	In a Zoo	○	○	○	a 数量の比較や自分の嗜好、動物の特徴や人の行動などについて、比較表現を用いて伝え合う技能を身につけている b 同等比較や比較級、最上級や原級を使った表現に注意し、比較の範囲を表したり、序数詞を用いて適切に表現する c 同等比較や比較級、最上級、倍数表現、<as ~ as one can> でよく用いられる語彙などを習得しようとしている	発表	
		最上級 比較を使った表現	Lesson17	Our Team	○	○	○			
	後期中間考査									
	5	11	関係代名詞	Lesson18	Neighbors	○	○	○	a 家族・知人や身の回りの物、場所や時に関して、関係代名詞や関係副詞を用いて伝え合う技能を身につけている b 適切な場面において、関係副詞 where, when などを用いて、場所・時などについて表現する c 関係代名詞や関係副詞を用いての表現で、よく用いられる語句などを習得しようとしている	やりとり
			関係副詞	Lesson19	Speeches	○	○	○		
		3	仮定法過去 仮定法過去完了	Lesson20	My Wish	○	○	○	a 現在や過去の仮定の話をする場合や、現在や過去と異なる願望を表すにはどのような表現を用いるのか理解している b 仮定法過去、仮定法過去完了、願望を表す用法に注意して、事実と異なる状況や自分の願望などを適切に表現する c 名詞節を目的語にとる述語動詞や、when, because, if, though[although] と共起する表現を習得しようとしている	発表
接続詞	Lesson21		A Birthday Gift	○	○	○				
後期末考査										

#### 4 評定の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	30	30	30	30
b	40	40	40	40
c	30	30	30	30
計	100	100	100	100

#### 5 授業や課題等に取り組む上での留意点

家庭学習課題は、期限を守り余裕をもって提出のこと。
---------------------------

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。